

交換留学プログラム 帰国アンケート

作成者情報

・ 氏名	吉村智香子		
・ 学部・学科	システム理工学部 生命科学科 医工学コース(国際プログラム)		
・ 性別	女性		
・ 学年 (参加開始時)	学部3年生		
・ 後輩からの質問メール可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 否	
・ イニシャルでの記載を希望する	<input type="checkbox"/> 希望する	<input checked="" type="checkbox"/> 希望しない	

プログラム基本情報

・ 参加プログラム種別	交換留学 (授業履修型)	・ 国名・地域名	マレーシア
・ プログラム開始日	2019/9/1	・ プログラム終了日	2020/1/15

- ・ このプログラムに参加した理由、きっかけ

最初は半年間海外へ行って日本で授業を受けている人たちと差をつけられないかとても不安でぎりぎりまで行くかどうか悩みましたが、将来海外へ踏み出す時へ備えた第一歩だと考え参加しました。

留学先情報

・ 国名・大学・機関・企業名	マレーシア	マレーシア工科大学
・ 主な履修科目もしくは研究内容	Rehabilitation Engineeringz(いろいろな障害の種類とその支援機器を学ぶ。最後にグループごとに指定された課題を解決するための機器を開発する。), Signal Processing(心臓の波形について学ぶ。), System Design(グループで支援機器を製作する。期末試験なしで、プレゼンテーションあり。), Clinical Engineering(医療機器のメンテナンス方法などを実戦で学べる。実技試験あり。)	

滞在先情報

・ 滞在先の種類	大学の寮	・ 宿泊先手配方法	留学先スタッフの仲介
・ 空港⇄留学先機関の交通手段	タクシー(セナイ空港→大学はUTMに頼めば送迎してもらえる)		
・ 通学/通勤方法	学バス(学部による)		
・ 滞在先の様子	Global Residenceは男子寮と女子寮に分かれている。部屋にはエアコン、ベッド、机、椅子、クローゼット、棚があり、全室一人部屋。共同スペースにトイレ、キッチン、シャワー、洗濯機などがある。シャワーは温水機能付き。ローカルの学生向けの寮より値段は高いが、自室以外は清掃員が清掃してくれるためとても快適できれい。		

留学についての感想

最初は英語を話すのが苦手で、生活や友達を作れるかどうか不安でした。ですが、多民族国家ということもあり皆優しく接してくれました。また、Global Residenceは寮全体でとても仲が良く、ご飯を食べに行ったり、みんなで旅行にも行きました。いろいろな国の人々と交流ができ、文化の違いを学べて、英語も分からないところはお互いに聞いたりして学ぶことができたのでとてもいい勉強になりました。授業ではみんなの積極性が高く、グループ活動でのアイデア出しは見習うべきところばかりでした。専門分野を英語で学ぶのはとても大変でしたが、いい経験になりました。最初は留学に不安を感じていましたが、結果的にとても楽しく留学してよかったと感じています。

参加を検討している方へのアドバイス

海外留学はしてみたいけど英語で生活していけるか少し不安という方に特におすすめです。マレーシアは多民族国家のため、他言語への関心や学習意欲が高いため、英語が苦手な人々への対応も寛容です。ヨーロッパやアメリカ、中東・アフリカ、アジアなど色々な国の人が留学やインターンシップに来ているので多くの国の人と交流することができます。Buddyの制度も充実しているので、現地で分からないことなどあればBuddyが助けてくれます。また、授業も日本とは違い生徒が積極的に参加するため受け身にならずに済みます。先生との距離も近く、わからないところは気軽に聞くことができます。行く前はいろいろな不安があると思いますが、とても楽しいのでぜひ一歩踏み出して飛び込んでみてください。

写真3枚(留学/研修先、滞在先、その他参加プログラムの様子がわかるもの)

写真を3枚を貼り付け、それぞれの写真に説明分を加えて下さい。写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

写真①



説明文

Clinical Engineeringで機器の説明を受けている様子です。

写真②



説明文

CultureCornerで各民族のダンスを紹介している時の写真です。

写真③



説明文

同じ寮に住んでいる留学生と撮った写真です。

写真④



説明文

必要な事前準備 (生活面・留学面)

- ・ VISA申請時に必要な書類
- ・ 入居時に必要だった書類
- ・ その他必要な事前準備

<input type="checkbox"/> 残高証明書	<input checked="" type="checkbox"/> 証明写真	<input checked="" type="checkbox"/> その他	(パスポートコピー,証明写真2枚,航空券,offer letter)
<input type="checkbox"/> 健康診断証明書	<input type="checkbox"/> その他	(特になし)	
予防接種(アジア圏旅行者向けに推奨されているもの)			

留学中の費用（概算）

<支出>

内訳	金額（日本円）	備考
往復航空券代+ビザ申請料	¥180,000	シンガポール航空を利用しました。
保険料	¥57,230	芝浦指定の保険
授業料/学期		学費相殺なので不明
通学・通勤費用/月	¥0	学バスは無料
住居費/月	¥22,474	光熱費込み、光熱費は一定価格
食費/月	¥9,000	
交際費/月	¥26,000	シンガポールに旅行に行った月の一例
その他費用		

<奨学金情報>

奨学金名	金額
芝浦工業大学 海外留学奨学金	7万円/月

※画像含むコンテンツの無断転載を禁じます。

交換留学プログラム 帰国アンケート

作成者情報

・ 氏名	内山 駿		
・ 学部・学科	システム理工学部 環境システム学科		
・ 性別	男性		
・ 学年（参加開始時）	学部3年生		
・ 後輩からの質問メール可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 否	
・ イニシャルでの記載を希望する	<input type="checkbox"/> 希望する	<input checked="" type="checkbox"/> 希望しない	

プログラム基本情報

・ 参加プログラム種別	交換留学（授業履修型）	・ 国名・地域名	マレーシア、ジョホールバル
・ プログラム開始日	2020/2/9	・ プログラム終了日	2020/4/26
・ このプログラムに参加した理由、きっかけ			

このプログラムの約1年前に、1か月の語学留学に参加した。その際に、異国に実際に身を置く非日常から得るものは多いということを感じ、また1ミリしか話せなかった英語も、もし話せるようになったらカッコいいだろうなとも思っていた。そこで、1人で長期的に現地の生活をしてみたいという好奇心が沸いてくると同時に、そんなことが出来るのは今しかないと考えたため。

留学先情報

・ 国名・大学・機関・企業名	マレーシア	マレーシア工科大学
・ 主な履修科目もしくは研究内容		
学部Built environment, 学科urban and regional planning 履修科目 / ・URBAN DESIGN AND SUSTAINABLE URBANISM・REGIONAL AND RURAL PLANNING・COMMUNITY PLANNING AND HOUSING・GREEN INFRASTRUCTURE & UTILITIES FOR PLANNING・COMPARATIVE PLANNING・ENGLISH COMMUNICATION SKILLS		

滞在先情報

・ 滞在先の種類	大学の寮	・ 宿泊先手配方法	留学先スタッフの仲介
・ 空港⇄留学先機関の交通手段	タクシー（自分の場合は事前のGPBLにて知り合った友人の送迎）		
・ 通学／通勤方法	シャトルバス		
・ 滞在先の様子	大学寮内のレジデンス。大学の敷地が広く、様々なレジデンスがあり、渡航後も割と容易に自分に合ったレジデンスに引っ越しは可能だと思う。自分の場合はコンドミニアムのようなレジデンスにて三人部屋で共同生活。校舎が集まるセンターポイントからは離れており広い敷地内にあり、マレーシア人以外の国の学生で構成されていた。ショップ・レストランがあり、便利だった。		

留学についての感想

自分は新型コロナの影響で生授業は2/9から3/16までそこから2週間ロックダウンが始まり、授業もストップ、自分は帰国し4/1からオンラインにて授業が再開した。短い留学期間だったが、海外の実際の授業を受けたり、現地学生とともに生活をしたりと普段では経験できないことが経験でき、非日常の生活から多くのことを学び、感じる事ができた。なかなか言葉で表すのは難しい。実際に身を置いて体で感じる事なので。ただ、やはり日本という国で生まれた自分は恵まれていると感じることがあったりと日本のすばらしさを実感した。また、1年前の自分には考えられなかった海外に1人で旅立ち、現地で生活し、英語での授業を現地学生と同様に受けるといったことを通して、成長を実感し、自分に少し自信がついたような気がする。もちろん日々語学面や生活面だったり問題が起こるが、今思えば、そういったことを通して成長していけるものだと思う。

参加を検討している方へのアドバイス

是非、嵐の"ハダシの未来"という曲を聴いてほしい。自分も簡単に留学を決心できた訳ではない。自分の場合は、1年間卒業が遅れ、友達とも一緒に卒業できない。就職面にも心配はあった。また、親に話した際も快くは思っておらずもう一度考えてほしいというようなことを言われた。(今思えば自分の決意を試していたのかもしれない。) といった悩む中で前述した曲を聴き、自分は留学を迷いなく決心することが出来た。(ぜひ聴いて感じてください笑) 行くと決めた場合、留学をしている期間だけに焦点が行きがちだが、その前後の期間もより価値のあるものになると思う。自分は英語力は乏しかったため、留学決断後から実際に飛び立つまで(約半年くらい)日々空いた時間に英語の勉強に熱心に取り組むことが出来た。というより半年後の留学に向けて勉強しなければいけないという環境をつくる事が出来た。また留学後も現地の授業で学んだことを通して、世の中に求められているものを感じ、研究内容を探している状態である。留学中の現地での生活は、やはり是非実際に現地に行き体で感じてほしいと思う、もし行って嫌になっても、それも一つの大きな自分の財産になるでしょう。行かないとわからない。自分が文字でいくら書いてもあまり意味はないように感じる。ただ一つ言えるのは本当に行ってよかった。こんな経験はもう今後できないかもしれない。金銭面も含め、多くの人から信じられないほどのサポートを受けて、留学ができるチャンスがあるという幸せを逃してほしくないと思う。

写真4枚(留学/研修先、滞在先、その他参加プログラムの様子がわかるもの)

写真を4枚を貼り付け、それぞれの写真に説明分を加えて下さい。写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

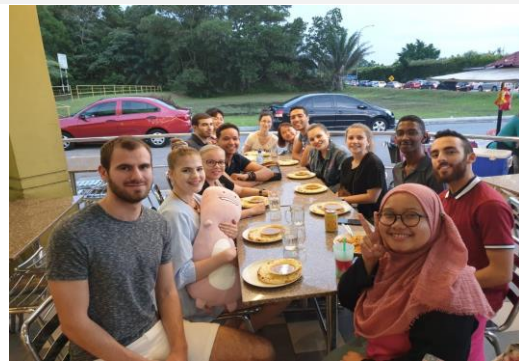
写真①



説明文

大学の寮。広大な大学の敷地内にあり、1～3人部屋で選択することが出来る。自分は3人部屋で過ごした。また、様々な寮が大学内に数多くあり、1か月契約のものが多く、容易に引っ越すことが可能。

写真②



説明文

同時期に来た交換留学生たちとの食事。自分と同様に、1年間のみや半年のみ在籍である。様々な国から来ており、マレーシア人のみだけでなく色々な国の人と交流することが出来る。

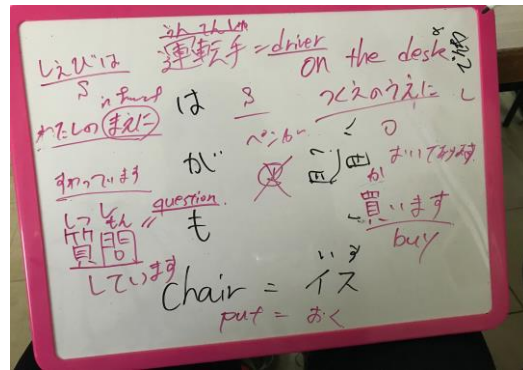
写真③



説明文

授業内でのフィールドトリップ。フィールドトリップのような授業もあり、クラスメイトと交流するきっかけにもなる。
現地の文化や雰囲気を生で感じる事が出来る。

写真④



説明文

日本語を教える。マレーシア人は親日の人が多く、日本語を学びたい、実際に既に学んでいる最中といった学生がとても多かった。UTMは日本人がとても少なく、希少価値があるため、日本語を教えてほしいと頼まれることが多く、定期的に数人に日本語を教えていた。

必要な事前準備 (生活面・留学面)

- ・ VISA申請時に必要な書類
- ・ 入居時に必要だった書類
- ・ その他必要な事前準備

<input type="checkbox"/> 残高証明書	<input checked="" type="checkbox"/> 証明写真	<input checked="" type="checkbox"/> その他	期限がしっかり残っているパスポート
<input type="checkbox"/> 健康診断証明書	<input checked="" type="checkbox"/> その他	現地でもらう学生証のようなもの	
早め早めに片づけるという気持ち。(自分ではなかった,,ため苦労した)			

留学中の費用（概算）

<支出>

内訳	金額（日本円）	備考
往復航空券代+ビザ申請料	約15万9500円	行き約7万円+帰り約8万2000円（新型コロナによる緊急帰国のためJASSO負担）、+VISA申請料7500円
保険料	約12,3万円	自分の場合は2か月で帰国したため、残額が返金される。
授業料/学期	なし	授業料相殺のため負担なし。
通学・通勤費用/月	0円	徒歩、シャトルバスで通学していた。
住居費/月	約1万5600円	寮、何人部屋かによって異なる。自分の寮は1人部屋だと約2万2800円
食費/月	約3万2400円	朝6RM（食べないことも多い）、昼10RM、夜20RMくらい。×30日で計算した。
交際費/月	約3000円	あまり遠くに行くことはなく、近場のショッピングモールやレストランが多かった。校内にも色々な施設があるため。
その他費用	約4000円 +α	学校外のムエタイに通っていたため(月180RM)+交通費 / + 初月は日用品を揃えるためにいくら+でお金がかかる。
UTM学生登録料	約4万9000円	学生登録料がかかる。このうち約3万円はプログラム終了時に返却される。

<奨学金情報>

奨学金名	金額
芝浦工業大学 海外留学奨学金	7万円/月

※画像含むコンテンツの無断転載を禁じます。